

平成 2 8 年度

補 正 予 算
事業概要説明資料

目 次

(商工労働部)

- ・ かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアルの推進 . . . 1
- ・ 岐阜県食品科学研究所（仮称）の整備 . . . 2

所 属	商工労働部航空宇宙産業課		
係 名	産業振興係	内線	2936

かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアルの推進

1 事業費	2,015,000	(933,500 → 2,948,500)
	【財源内訳】	【主な使途】
	国庫 672,049	負担金 2,015,000
	県債 672,000	
	一般財源 670,951	

2 背景・事業目的

県では、「岐阜県成長・雇用戦略」において「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」を最重要プロジェクトに位置付け、人材育成の強化、生産拡大の支援、県内航空宇宙産業のPRなどに取り組んでいる。

その一環として、航空宇宙に関する県内唯一の専門施設である「かかみがはら航空宇宙科学博物館」（各務原市）を、人材育成や県内航空宇宙産業の情報発信拠点として活用するため、同市と共同で、「リニューアル基本構想」（平成27年9月）及び「同基本計画」（平成28年4月）を策定し、リニューアル後は共同で所有する方針の下、建築工事及び展示製作を行う。

3 事業概要

かかみがはら航空宇宙博物館リニューアル整備事業（2,015,000千円）

（内訳：建築工事1,241,500千円、展示製作773,500千円）

各務原市と共同して、リニューアル基本構想および基本計画に基づき、同博物館のリニューアルを行う。（平成30年3月完成予定）

【整備概要】

- ・既存博物館の建物増改築、外構工事及び展示物の製作
 リニューアル後：延床面積 8,153 m²→12,192 m²（現在の1.5倍）
 展示面積 5,459 m²→9,421 m²（現在の1.7倍）
 ※航空宇宙専門博物館として国内最大級となる
- ・工事費等は、現在の所有者である各務原市が一括工事等の契約を行い、県はその一部を負担金として支出

【リニューアルの方針】

- ・基本コンセプトは、「空、宇宙（そら）への挑み かかみがはらから日本へ、世界へ」
- ・我が国の航空技術開発の歴史や人類の宇宙開発の歴史や挑戦の物語を体系的に学ぶことができるよう展示物を製作および再配置する。

（款）7 商工費 （項）1 商工費 （目）(3) 工業振興費
 （明細書事業名）○工業振興費
 航空宇宙産業対策推進費

平成28年度3月補正

所 属	商工労働部産業技術課		
係 名	研究所整備推進係	内線	3093

岐阜県食品科学研究所（仮称）の整備

1 事業費	292,800 (81,400 → 374,200)			
	【財源内訳】	【主な用途】		
	国庫	144,263	工事請負費	257,612
	県債	148,500	負担金	35,402
	一般財源	37		

2 背景・事業目的

県内には、特徴的な健康食品を製造する食品業界や清酒などの醸造業界があり、県としても「岐阜県成長・雇用戦略」において「食料品分野」を成長産業の一つと位置付けている。

さらに企業にとっては、食品加工や醸造における消費者ニーズが多様化したことや、「機能性表示食品」制度に基づき商品パッケージに機能性を表示できるようになったことから、より付加価値の高い製品を開発し、ビジネスにつなげていく機会が到来している。

県では食品の加工・製造や醸造などの技術開発を推進しており、加えて岐阜大学では動物実験等のライフサイエンス分野の研究に取り組んでいるが、県内企業のニーズにこれまで以上に応えるため、岐阜県食品科学研究所（仮称）を整備し両者が連携する体制を構築する。

3 事業概要

食品科学研究所整備事業（292,800千円）

県と岐阜大学の「食品科学分野の連携に関する協定」に基づき、大学敷地内に岐阜県食品科学研究所（仮称）を整備する（平成30年度末完成予定）。

- ・ 整地工事の後、新棟建築工事に着工する。
- ・ 大学が施工する周辺インフラ（電気、水道等の接続）工事について、負担金を拠出する。

【整備概要】 3階建（1～2階は県試験研究機関、3階は大学が入居）
総事業費約20億円

【新たな機能】

- ・ 市場拡大が見込まれる機能性表示食品の研究開発・技術支援体制の強化
- ・ 企業の若手技術者や大学院生が交流できるサロンを設置し、産学官連携を促進
- ・ 3階の連携活動スペースを活用し、共同研究や学生に対する実践的教育を推進

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) (3) 工鉱業振興費
(明細書事業名) ○ 工業振興費
技術開発支援費